

木の実幼稚園 関係者評価表

評価年月日 25年9月25日

評価者/芳名(澤井 啓子)

| 評価項目No. | 評価～本園の行った自己評価の項目についてご意見、ご感想を自由に御記述下さい。 |
|---------|---|
| 1 | 園生活の中で、特に大きな行事では何でも決められた事を繰り返す一方通行ではなく、先生が課題を見つけ子供たちの思いを引き出しながら言話し合い常に対面にて下さっていることが伝わってきます。一つの活動を通して対話により子供たちは自分の思いを持ちながらも、お友達のことともしっかり考え方開わることができるようにになってきたと感ります。これからも子供たちが「興味・関心」を持った様々な事にチャレンジできるよう見守っていくべきだきたいと願っています。 |
| 2 | 各クラス異なる設備の中先生方の工夫で多様な空間を作りその工夫を先生方同士で共有しながら高めていく努力は本当にすばらしく思います。ウッドデッキは教室の延長の様でもあり、クラス学年を越え子供たちが集まる楽しい場所で、子供たちは大きくなる所です。全ての環境がとてもユニークで、その特性を活かして楽しみ豊かな心を育んでほしいと願っています。 |
| 3 | ビオトープの周りの四季を楽しむ植物や果樹園を子供たちが管理することで自然と子供をさらに繋ぐよい体験になると思います。四季折々の植物に虫が集まり、子供たちが夢中になり目を光輝かせる姿が目に浮かびます。 |
| 4 | クラス通信「園だより」以外の新しいホームページでの情報発信はより一層の理解度が深まると思思います。一枚一枚具体的にお知らせの配布時期についてですが、先の予定を確認する為あと数日早く配布して頂けたら心という思いがありましたが、配布を早めてくださることはとても本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想ありましたらお書き下さい。ありがとうございます。 木の実幼稚園の子供たちはいつも先生方から丁寧なことはをかけてもらいつつ、温かく見守られながら成長しているといつも園に行き、子供たちの姿を見ると感じます。毎日安心して子供を見送ることができたのも先生方のおかげで本当に感謝の気持ちでいっぱいです。毎月の園だよりでの園長先生の便りに染みいることは、クラスだよりでの先生の温かい言葉に毎日の慌ただしさで忘れていた大切なものを思い出させてもらったりと私自身も園を通して様々な学びや経験をさせて頂きました。 今後も子供たち、先生方の笑顔がいつまでもつづくよう願っています。 |

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、感想は本園の今後のために有効に活用させていただきます。

木の実幼稚園 関係者評価表

評価年月日 25年9月26日

評価者 姓名(和田 佳織)

| 評価項目No. | 評価～本園の行った自己評価の項目についてご意見、ご感想を自由に御記述下さい。 |
|---|--|
| 1 | 本年度の年長児の宿泊保育は、これまでのものとは内容が大きく変わり、先生方への負担が増えてるのではないか、また保護者の方からの「川遊び」や「ツッキング」での不安の声も耳にしましてが、先生方の綿密な準備など、多大な御尽力のお陰で子供達は充実して二日間を過ごすことが出来たと思います。 |
| 1 | 初めての経験、お友達と協力して作り上げて体験が宿泊保育を終えて帰ってきた時の自信に満ちあふれた顔にあらわれていたのだと思います。また「ツッキング」へ向けての家庭での練習は、親子の大切な時間になりました。このように宿泊保育の点においても「丁寧な保育」へと改善されていると思います。 |
| 2 | 新しくキレイだというだけでなく、子供達の興味をひき、関心を持つ、気づくりということがどうやら始まる学びへつながっていると感じます。また各クラスの良い所を紹介、共有することで、先生方へのよい刺激となり、エリ良い保育環境へと発展している様に思います。 |
| 3 | 最近の子供達は知識は豊富でも実体験が伴っていないと聞いています。果樹の丘や畑、ビオトープでの植物や生き物との触れ合いで学ぶことはたくさんあり、とても大切なことだと思います。実際に見て、触れて、育てて、感じることで命の尊さ、人や物への感謝の気持ちを学んでくれることと思います。 |
| 3 | そして「どうして」「知りたい」という好奇心旺盛で意欲的な子供に対して欲いで、また広い園庭で四季の移り変わりを体感することにより、感性豊かに子供へと成長してくれるのではないかと期待しております。 |
| 4 | 新しいホームページは、在園児の保護者だけでなく、幼稚園選びをされている方々にとっても見やすく、内容も充実しているので、木の実幼稚園の良さが伝わるものになっています。ブログも楽しげではあります、先生方の負担にならないことを望みます。また紙媒体であるクラス通信は、長女次女共に全学年分を保存し、とても大切に宝物としています。 |
| 本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想ありましたらお書き下さい。 広大な園庭との遊びで保育方針、そして一番の魅力は園長先生はじめ教職員の方々の元気で明るい笑顔と細田やかたの心配りだと思います。家庭で見せてよい一面や、小さな成長も見逃すことなく、「認め」褒めて下さり、また保護者に伝えて下さる先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。子供は認めてもらうことで、自信を持ち、何事にも意欲的に取り組むことができると実感しております。子育てでの不安や悩みには、先生方の力強いサポートがあり、子供達の日々の成長と満ち足りた笑顔で私達親は親として少しでも成長させてもらっているのだと思います。 大切な幼児期を不思議な幼稚園で過ごすことで、自主性や協調性、思いやりを身につけることができ、しっかりとしくて根を下ろすことが出来たと思います。今後太い草木となり、多くの枝葉をのばして花や実がなるのかと楽しみでなりません。 これからも変わらず、温かく見守って頂ければ幸いです。 | |

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、感想は本園の今後のために有効に活用させていただきます。

木の実幼稚園 関係者評価表

評価年月日 25年 9月 27日

評価者(芳名) 中村 裕子

| 評価項目No. | 評価～本園行った自己評価の項目についてご意見、ご感想を自由に御記述下さい。 |
|--|---|
| 1 | ・ビの教員の方も明るく笑顔であいさつをして下さる所。子どもの様子を細かなことで具体的に伝えて下さるところに「丁寧な保育」を充分に感じると感じています。各々の担任の先生オリジナルのネーミングのクラス通信をみても、イラストを含め全てが手書きで、熱心な保育の内容が詰め込まれてあります。 |
| | 毎月ビのような活動をしているのかよくかかり、毎月のたのしみの一つであります。「おみやげ!保育をしない」というモットーを掲げられていますように、表現活動を通して個々の作品の成長を見ることはできますが、季節の行事の作品に関しては、もう少し統一した作品もあるかも良いかと思います。 |
| | ・ビの作品も子どもが発した言葉と一緒に作品名をかけて下さることで、子ども自身の想いが伝わりやすく、先生方の観察力と洞察力に感服します。今後も、子どもの「学び」となる体験・子どもが「自ら考える機会」がもてよう保育が実践されていくことを期待しております。 |
| 2 | 新しいリバース保育室。アトリエについては、まさにその特性が「造形展で生きされている」と思っています。また、木の実の特色の一つである「コーナー保育」もとても充実されていて、子どものひらめきや小さな発想を、担任の先生ならではの身近さで拾いあげて下さり、個人からクラス全体への取り組みへと広がっていく戸介が、充実した環境 |
| | ならではの保育だと思います。欲を言えば、普段のコーナー保育の子どもようすを見せて頂く機会があれば、家庭内での環境作りの参考にもなるのではないかと思います。各保育室に手洗場があることも、制作への集中力が引き出されずに取り組める良さの一つかと思います。 |
| 3 | 園庭環境については、その広さ・自然の多さが「最大の魅力であります。季節を体感することができる園庭で走り回ることができることこそ、子どもにとって最も重要なことなので、今後も皆で育ったトコトヤキュウリを分け合ってたべる等、家庭だけではなくなり体験をたくさんさせて頂きたいです。 |
| 本園行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想ありましたらお書き下さい。 | |
| 4 | インターネットでの出欠・ペンドリ申込みは大変便利であります充実していると思います。メールで、天候による行事の延期等、迅速な判断で発信されているのも助かります。ホームページのリニューアルによって、ブログでの子どもの写真をひらくか月一度の更新をクラス単位で行うか…等、今後に期待しております。 |
| この度、この様な意見を書かせて頂く機会を頂き、ナースリーを含め4年間の生活を、改めて振り返ることができました。個人的なことであります。核家族・多忙な仕事による夫の不在の中で、子どもと一緒に、悩みながら、手探りで「我が子を育て参りました。子どもにとって初めての社会・母子分離の場が、木の実幼稚園であったことは本当に良かったと思います。ナースリーの頃、「一人でバスにのれましたね」と言って下されたこと、年少時の担任の先生に、 | |
| ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、感想は本園の今後のために有効に活用させていただきます。 「子育ての経験がないので、一緒に悩むしかよくてすみません」と言って頂いた言葉に、 ビのほとりに心地よくなれました。温かい気持ちになれたことか言い表わすことかできませんでしたが、 この場をお借りしておれしを申し上げます。「木の実、子である」ということは、親子にとって、大きな宝物であり、今後の成長の糧になると思います。 本当にありがとうございました。 | |